

お知らせ

広報むなかた

むなかた

タウンプレス

宗像市公式ホームページアドレス
http://www.city.munakata.lg.jp/
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷 1-1-1
代表：総務課 ☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集：情報政策課広報編集係
☎0940-36-1055 FAX 0940-34-2002

毎月1日・15日発行

ながら運動で健康づくり
バスや電車の中で…

平成23年4月1日号

二の腕に効く！

バスや電車の中でつり革を持って、
二の腕「すっきり！」

やってみよう！

つり革を引っ張って
10秒間キープ

こんな時に

- 電車やバスのつり革で
- 車の中の上部の持ち手を使って

1日号のこのコーナーでは、
ワンポイント健康づくりを
紹介しています。

問い合わせ先
健康づくり課 ☎(36) 1187
は、市広報紙以外の団体発行物です。

1～3	1・4～8	9・10	ユリックス・ サラダ	11	12～16・18	16	17	18
行政	お知らせ	社協だより		市民学習 ネットワーク	お知らせ	そうだん	施設だより	市民



平成23年度施政方針



大胆な発想と実行力で 合併後のまちづくりの総仕上げ

平成23年第1回市議会定例会（3月議会）で、23年度の市の施政方針と予算、諸議案などが審議されました。2期目を「合併後のまちづくりの総仕上げの4年間」と位置づけ、市政運営に取り組む谷井博美市長の施政方針を紹介します。

問い合わせ先 経営企画課 ☎(36) 1192



決意を述べる谷井市長

谷井市長の決意

宗像市の輝かしい未来を切りひらくため、2期目を「合併後のまちづくりの総仕上げ」の4年間と位置づけ、「元氣な市民と、元氣なまちづくり」を基本理念に、市政運営に取り組んでいきます。

経済の低迷、少子高齢社会の進行、危機的な財政状況など、地方を取り巻く環境が厳しい時こそ、今までにない大胆な発想と実行力が問われます。将来の宗像づくりに向けて強いリーダーシップを発揮しながら、まちづくりを進めていく決意です。

市政運営の方針と 基盤的な取り組み

●市政運営の方針

- ①安心できる生活環境の創出
▽全体の方針や計画を市民に示し、役割分担をしながら、安全・安心のまちづくりに取り組む
- ▽緊急情報伝達システムを本格運用し、地域の防災機能や体制を拡充
- ▽新たな交通体系による市民の移動手段の確保と向上、消費生活相談の体制充実などを図る
- ②産業の振興と地域活性化
▽産業の振興、地域経済の活性化を目指し、地域力を高める取り組みにチャレンジ
- ▽地域資源をつないで地域全体の魅力高め、産業5団体（JA、鐘崎宗像両漁協、観光協会、商工会）や関係事業者と目標を共有しながら、地域が一体となった取り組みを推進
- ▽中心市街地への店舗の立地誘導など、にぎわいの創出に向けた取り組みを強化し、地域経済の活性化を目指す
- ③環境・エコ対策の推進
▽地球温暖化対策として、市民と事業者、行政が一体となり、経済発展と環境保全を両立させる「持続可能な社会」の構築を目指す
- ▽さつき松原の整備やホテルの再生に向けた取り組みなど、市民と共に自然の豊かさを実感できる取り組みへ発展させる
- ④教育・子育て環境の充実
▽「子ども基本条例」を制定し、家庭教育や子どもの居場所づくりの充実など、家庭や地域での取り組みを強化
- ▽乳幼児医療費の助成対象学年の引き上げや公費負担による子どもの予防接種事業の拡充、子育て支援センターでの相談体制の強化など、子育て環境の充実を図る
- ⑤歴史・文化の継承と創造
▽「文化芸術でもっと宗像が好きになる」を将来像に据え、「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」に基づく文化芸術振興への新たな取り組みを開始
- ▽昨年度設立された世界遺産市民組織と協働で市民啓発などを進め、世界へ誇れる歴史文化遺産への理解を広めるなど、世界遺産登録活動を盛り上げる

▽民間企業が持つスポーツ資産の有効活用や海洋性スポーツの普及など、本市の資源を生かした取り組みを強化

●基盤的な取り組み

①将来の宗像づくりは市民と共に （市民参画・協働の推進）

- ▽コミュニティ活動の拠点施設であるコミュニティ・センターの建築工事を、河東地区と合併予定の田島・神湊地区の2地区で着手
- ▽コミュニティ施策の検証結果を具体化し、今後のコミュニティ活動の活性化につなげる
- ▽市民活動の拠点施設である市民活動交流館の運営の一部を、中間支援組織「むなかた市民フォーラム」へ協働委託するなど、地島イノシシ対策事業、里山再生事業、生ごみ減量事業など新たに10事業を市民活動団体へ協働委託
- ▽施策の課題や解決策、役割分担などを議論し、その結果を今後の取り組みに生かすことを目的とした「まちづくり市民会議」を、環境、健康・福祉をテーマにコミュニティ運営協議会、市民活動団体、市民と開催



まちづくり市民会議の様子

②「地方新時代」を見据えた 自治体経営の基盤づくり （行財政改革の推進）

- ▽「人づくりまちづくり研究所」の役割と機能を強化し、都市ブランドの具体化と戦略的な広報・PR活動を展開するため、「都市ブランド推進プログラム」の策定に着手し、他市にはない本市の地域資源の活用やPRを通して、まちのイメージアップを図る
- ▽第2次行財政改革アクションプランを実施し、「ヒト・モノ・カネ」の経営資源の一体的な改革を推進
- ▽効果的・効率的で新たな社会ニーズに対応できる組織を基本に部・課を再編し、部の役割・機能を強化するなど組織力向上のための見直しを推進
- ▽「人材育成ビジョン」を基に、人事制度の確立、職員研修の充実、職場環境の整備など、経営基盤である職員の人材育成に取り組む
- ▽コンビニ収納サービスを軽自動車税に加え、ほかの市税などへ拡充するほか、市内大型店や各地区コミュニティ・センターで住民票などの即時交付ができるように、サービスの向上を図る
- ▽公共施設の長寿命化の調査対象を、公園、市営住宅などまで拡大し、計画的な補修による維持コストの削減に努める
- ▽市税などの収納率の向上や自動販売機設置にかかる公募の実施、売却可能資産の処分促進などによる収入の確保を図るとともに、印刷物の集約や廃止、委託契約の見直しなど歳出の削減に努める
- ▽事業の効率性や有効性向上のための改善提案などを受けることを目的とした外部評価（事業仕分け）の本格導入を検討